

環境振動運営委員会 2021 年度第 5 回議事録

A. 日 時 2022 年 1 月 27 日 木曜日 10:30～12:00

B. 場 所 Zoom によるリモート会議

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|---|------------|----|------|---|-----|---|-----|---|----|---|
| C. 出席者 | 松本主査 | ○ | 鈴木健幹事 | 記録 | 富田幹事 | ○ | 石田 | ○ | 井上竜 | ○ | 国松 | ○ |
| | 小谷 | ○ | 尻無濱 | ○ | 杉本 | ○ | 鈴木雅 | ○ | 高野 | | 田中 | ○ |
| | 濱本 | ○ | 原田 | ○ | 東田 | ○ | 益田 | ○ | 増田 | ○ | 山中 | ○ |
| | 横山 | ○ | ワザバー 石川 | | | | | | | | | |

敬称略 50 音順（主査・幹事を除く）

D. 提出資料（提出委員名）

- 【5-01-1】20211214AIJ 環境振動運営委員会第 4 回議事録案_3.docx（富田）
- 【5-02-1】2022 環境工学予算配分表.pdf（松本）
- 【5-02-2】2022 環境工学委員会予算配分（依頼）.xlsx（松本）
- 【5-03-1-2】測定分析小委員会_2021 年度活動報告(案)_20220125.pdf（尻無濱）
- 【5-03-1-1】測定分析小委員会（第 5 回）報告_20220125.pdf（尻無濱）
- 【5-03-2】21 環境書式_環境振動性能評価小委員会.docx（富田）
- 【5-03-3-2】予測情報小委-2021 年度活動成果報告.pdf（山中）
- 【5-03-3-1】予測情報小委-第 5 回活動報告.pdf（山中）
- 【5-03-4】活動報告_2021 設計検討小委員会.pdf（原田）
- 【5-03-7】モニタリング WG 第 3 回 WG 議事録.docx（濱本）

E. 議事内容

O. 前回議事録確認（富田，資料 No. 5-01-1）

- ・確認し、承認された。

1. 本委員会報告（松本，資料 No.5-02-1～2）

- ・前回以降開催されていない。
- ・来年度委員会予算について本委員会より通知があった。前年度より 37,000 円増（337,000 円）。
- ・各小委員会に今年度と同様の考えで割り振った。（旅費支給対象者数に応じて）割り振った。
- ・AIJES の基準の変更を申し入れ、受け入れられた。（評価規準の追加）

2. 各小委員会・WG 活動報告

2-1. 環境振動測定分析小委員会（尻無濱，資料 No.5-03-1-1～2）

- ・12/23 メール審議とした。
- ・「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」は一般公開で閲覧可能とした。
- ・クラウドサーバーBOX を設定。
- ・解嘱委員の後任（追加）は公募していただく予定。
- ・次回は 1 月以降 WEB 開催予定。
- ・成果報告。

2-2. 環境振動性能評価小委員会（富田，資料 No.5-03-2）

- ・開催無し。

- ・成果報告。
- ・委員の公募は昨年度行ったので今回は無しとした。

2-3. 環境振動予測情報小委員会（山中，資料 No.5-03-3-1～2）

- ・12/15 に第 5 回をハイブリッドで開催。
- ・宿題について 3 名からの報告あり。
 - 上下階の応答振動の簡易予測手法の検討
 - 大型振動台加振時の振動評価
 - 歩行ピッチの影響検討
- ・今後の活動について。
 - 報告書イメージについてやスケジュールについて確認
 - 成果の公表について議論
- ・成果報告。
 - 成果はできるだけ公表するようにして欲しい（松本）
 - 「公開研究会」というやり方もある（濱本）
 - 以前、測定小委員会で「公開研究会」の形で実施している（国松）

2-4. 環境振動設計検討小委員会（原田，資料 No.5-03-4）

- ・開催無し。
- ・成果報告。
- ・委員公募はしない。
- ・ヤクモ振動台体験 2/18 予定。
- ・他の小委員会や WG との連携を強めていきたい。

2-5. 広報 WG 活動報告（国松）

- ・ホームページに議事録を都度アップしている。
- ・名簿についても適宜修正しているので、変更があれば連絡して欲しい。（学会のホームページは設立時のままで更新されない）

2-6. 環境振動モニタリングWG活動報告（濱本，5-03-7）

- ・11/4 に第 2 回、12/27 に第 3 回を実施。

（第 2 回）

- ・WG としては、単体としての振動計測ではなく、群としての振動計測を行うという方向性で進めるにあたり、国松さんから騒音の面的効果の話をしていただいた。

（第 3 回）

- ・第 19 回環境振動シンポジウムでの群としての環境振動の面的評価の話を紹介し、議論した。
- ・人的資源、時間的制約から大きな話を進めていくのは難しいところがあるので、受振点で計測した振動に対して逆解析的な方法で振動の原因を探していくという方向性もある。
- ・長期的なモニタリングを実施できる場所の案などの提案があった。
- ・方向性については引き続き議論。

2-7. 小規模建築物の振動特性WG活動報告（国松）

- ・戸建てを対象に設計し資する資料を収集していきたい。（固有振動数と減衰比）

- ・できれば住宅展示場で実測を行いたい。
- ・次回、森林総研の実験住宅での計測、住宅展示場での計測にて計測点をどこに設ければいいかを検討するつもりだったが、2/1 は Web 会議とした。

2－8．道路交通振動の加振力検討WG活動報告（横山）

- ・開催無し。
- ・実際にトラックを走らせる実験を実施する予定で考えている。

2－9．環境振動企画 WG 活動報告（鈴木）

- ・本日、環境振動シンポジウムを zoom ウェビナーで実施。（途中で会場併用からオンラインのみに切り替えた）
- ・会場申込者 4 名のうち 3 名はオンラインに切り替え申込みしていただけた。

2－10．その他

- ・来年度シンポジウム会場の仮押さえを 1/26, 27（あるいはその前週）あたりで
→ 2023/1/26 と 27 の建築会館ホールを仮押さえ済み（1/27）
- ・環境振動シンポジウム 40 回ということで、「あゆみ」の更新版作成を検討願いたい。
→ 次回運営委員会にて検討

次回の開催予定

来年度 第 1 回 2022 年 4 月 22 日（金） 17：30～

以上